

健康と光線

昭和十年

僕の白金台町の家は、東京建物会社からの借家で二階建てであつた。そこで、三男光明が生まれ、長男義和と長女ヤエコは、幼稚園に通うようになっていた。

段々と事業も発展して来たので、隣に建つ同じ大きさの家が空家になった際にそれも借りることにした。ちょうどその頃、樺太、北海道で仕事をしていたO氏が来たので採用した。

其所に住んでいる時に二・二六事件が起きて、朝早くF氏から丸ノ内附近で何か大異変が起きているようだと言話が来た。当時の電話の権利は、家屋一軒の値段と同じ位であつたと記憶している。

昭和十一年

大体事業の見とおしもつたので芝二本樓に移転した。建坪は80坪で、二階に八畳の部屋が三室あり、階下の事務室も玄関も相

サナモアと共に歩んだ道 (2)

健康と光線版

東京光線療法研究所
創立者 宇都宮 義真

当広く、便所も階上と階下にあつた。従業員も数人となり、女中も二人か三人のこともあつた。二本樓で次女ヨシコが生まれた。

昭和十六年十月

本多秀貫博士と知り合いになつたのは、未だ白金台町に居た頃

発行所
光線療法
普及協会

(年2回発行)

〒153-0063

東京都目黒区目黒

1-23-11

電話 東京 (03)

5759-6333

である。本多博士の患者W氏の結核が光線療法で非常によくなつたので驚いた本多博士からW氏を紹介して面会を申し込まれ、こちらから訪問して僕の考えを説

明した結果、その後永らく協力を得られた。未だマイシンなどの結核に有効な薬が開発される前である。素人ばかりの集団に医師が一人加わったことは何かと有利であつた。本多博士は戦中に四国の高松に移転し開業していたので、僕は九州に行く途

中に一度訪問して歓待を受けた。その後も一度訪問したいと思いつながらも、果たさないうちに加齢でお亡くなりになられた。

僕は光線療法については、殆ど知識がなく信念だけが先行していた。各方面の専門家と思われる人々に指導を乞うたが、ほとんど得るところはなかった。やはり自分のやりたいことは、自分で研究する以外にないことを痛感した。僕はやむを得ず新聞、雑誌の隅々にまで何か参考になる事はないかとさがした。

ある日書店で理化学研究所の二神博士の「紫外線・赤外線」という著書を発見した時の喜びは何ものにも例える事ができなかった。早速、K氏にも知らせた二人で理化学研究所を訪問して、二神博士に常温室の実験等を見せてもらった。その後、揖斐川電気株式会社で医療用カーボンを試作した時には二神博士に光電管を応用した光線測定器を作ってもらって非常に役に立った。

それまで医療用カーボンは専

ら外国品だけであつたが万一の場合も考えて国産に切りかえたいと思つた。幸いに東邦電力会社の重役Y氏の紹介で揖斐川電気株式会社に作らせることにした。そして工場長(後に監査役)N氏と協力して数種類を試作して東京市電気試験所で不完全ながらスペクトル写真をとった。

その後、東法電極、マツダ秋田電工、藤岡シルズゾーンでと医療用カーボンを作つたが販売網がないために成功せず中止した。その頃、白青社のS氏の世話で炭素工業会を作つて参加したが電頭蛇尾に終わった。

次号へ続く

夏季臨時休業のお知らせ

八月十一日(金)から十五日(火)まで夏季臨時休業致しますので、よろしくお願い申し上げます。

㈱東京光線メディカル
サナモア治療院ソレイユ

東京光線メディカル 創業85周年を迎えて

弊社は昭和7年(1932年)11月の創業以来、戦争による一時的な中断はございましたが、本年85周年を迎えることができました。これもひとえに、多くのご愛用者さま、サナモアの普及にご協力くださった代理店さま、治療院さまのお陰と心から感謝申し上げます。

私も弊社を先代から引き継ぎ一年半が経ちましたが、進むべき道がかすかながらも見えてきたように思っており、これから創業当時の理念を大切にしてサナモアの普及に尽力する所存でございます。

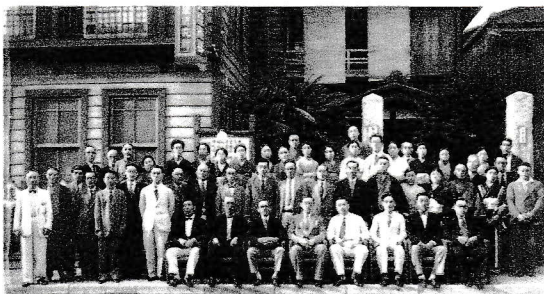
また、この度85周年記念事業の一つとして、旧本社跡地を利

用して「サンクレール訪問看護ステーション目黒」を開設致しました。

理想的な在宅ケアの追求による社会貢献は、弊社が創業当時から持ち続けている理念に合致するものと考え、記念事業の一環として設立したことをご報告させていただきます。



サナモア 歴史写真展



業者月例研究会 (戦前の本社屋前)



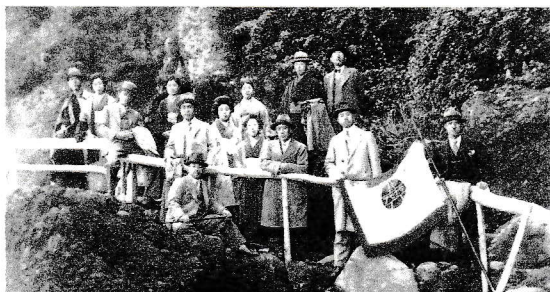
照射風景 (宣伝用写真)



サナモア光線協会と日本治療師会役員合同記念 (於帝国ホテル)



講義風景



サナモアの旗 伊東温泉に行く



講習会

サ/ナ/モ/ア/便/り

vol.69 宇都宮 正範

第二十二期
サナモア光線治療師
養成講座を東京にて開講

第二十二期サナモア光線治療師養成講座を、六月九日、十日の二日間の日程で開講致しました。今回は十名の参加にて開き



ましたが、例年にも増して、活発な意見交換ができましたこと喜ばしく思います。

今回、治療師認定を受けられた方をご紹介します(写真)。

治療師認定者

中林弘子(大阪府)、萬澤妙香(石川県)、北郷直(石川県)、堀内良子(東京都)、川村三代子(愛知県)、下山しおり(東京都)、大上安美(大阪府)、小南朋子(兵庫県)、赤梅由美子(岐阜県)、碓井博子(神奈川県)。敬称略

第四十七回
「光と熱研究会」
のお知らせ

医療に関連した話題の講演や治験例の報告を中心とした研究会を開催していますので、一般のご愛用者の方も是非ご参加下さい。なお参加は無料です。

日時：十月二十八日(土)
午後二時三〇分

場所：(株)東京光線メディカル
本社 三階会議室

光線療法普及協会 講演会のお知らせ

<講演内容>

いま見直される光線療法

—健康でいきいきと生きるために—

高齢化社会に突入した日本では、多くの高齢者が1日でも長く元気で生活したいと願われていると思います。そのために、様々な努力をされていることですが、「どのようにして健康寿命を延ばすのか？」そのヒントが、光線療法にあるのです。

講演者・宇都宮正範

東北支部 講演会

日時：9月8日(金) 午後3時から
会場：いわて県民情報交流センター
アイーナ会議室701
住所：盛岡市盛岡駅西通1-7-1
電話：019-606-1717
交通：JR「盛岡駅」から徒歩4分
入場：無料

九州支部 講演会

日時：10月13日(金) 午後3時から
会場：福岡ビル9階2ホール
住所：福岡市中央区天神1-11-17
電話：092-716-8021
交通：地下鉄空港線「天神駅」から徒歩4分
入場：無料

お問い合わせ

光線療法普及協会 TEL 03-5759-6333

◆ 募 集 ◆

サナモア光線治療師

当協会の趣意に賛同され、光線療法の普及にご協力頂ける方、治療院の開業を検討なさりたい方は、お問い合わせください

サナモア光線協会

〒153-0063

東京都目黒区目黒1-23-11

TEL (03) 5759-6333

治療例報告

サナモアで脳梗塞後遺症を治療

神戸市 ウエノ光線療研

上野 郷子氏報告

TEL 〇七八一三三二一三五八

症例 75歳 男性 自営業

症状 友人と飲食中、突然右半身が麻痺し、思うように動かせなくなったため、救急車で病院に搬送され、頭部CT検査で脳梗塞と診断された。入院加療を施行し、病状が安定した後、リハビリを開始。右足を引きずるようにして歩くことができるまでに回復したが、発症から四か月後に退院。娘の介添えにて初めて来所した際は、そわそわとして落ち着かない様子であった。

療法経過 当初、なだめるようにして光線治療を開始するも、10分も経たないうちに身体をもぞもぞと動かし、じっとしてられない様子。自宅での治療は、ABカーボンにて、足裏、足関節、膝を中心に各10分以上の照射を指示し、本人が嫌がる時は寝込んだ後に照射するよう説明

した。

治療開始五日目には、じっと静かに照射させるようになったため、徐々に腹部、腰背部、後頭部と照射範囲を拡げるように指示。後頭部の照射は、最後まで嫌がっていたが、一か月後には、後頭部の他、側頭部や顔面

の照射も嫌がなくなった。

その後、足裏、足関節、膝、腹部、腰背部はABカーボンで各10分、頭部は、ADまたはBDカーボンを交互に使用し20分程度照射。二か月が経過した頃には、自身で箸を用い食物を口にまで運べるようになり、右半身の冷えも改善し、気分も優れてくる。三か月後には、介添えなしでトイレ歩行が可能となり、その後、週に一回、リハビリセンターに通い、現在は順調に回復している。

治療例報告

突然の難聴がサナモアで軽快

福岡県春日市 育美健康光線療研

山崎 いく子(旧姓前田)氏報告

TEL 〇九二八 五八一〇三九
五七二一五七三

症例 78歳 女性

症状 サナモアご愛用者。約10年前に網膜剥離をサナモアだけで治して、診療に携わっていた病院の七不思議になったエピソードをお持ちの方。今回、片側の

耳が急に聞こえなくなったため、ご自身の判断ですぐ光線照射を開始した。

療法経過 自宅での治療は、BDカーボンの組み合わせで集光器を使用。治療開始九日目、

はつらつさんと ジョイントカーボン

サナモア光線治療器はカーボンの芯剤を完全燃焼させることで最も効果のあるスペクトルを含む光線を放射するよう、正面からカーボンをぶつける正面発光式を採用しています。そのため手動式のサナモア7号器・8号器では照射時間が十分強で切れ、長時間の照射には、不便をお掛けしてきました。この点を改良したのが全自動光線治療器はつらつさんで、照射時間は5

分刻みで60分まで設定でき、カーボンの消耗に合わせてジョイントできるサナモアカーボンをつないでおけば、自動的にカーボンを送り安定した光線を放射します。なお、現在は手動式も製品ラインナップに加えております。

*

はつらつさんご使用の際には、安全性を保ち、事故を未然に防ぐため、ジョイントカーボン以外のカーボンは絶対に使用しないで下さい。使用上の注意は、「はつらつさん取扱説明書」をご覧ください。

ようやく少し聞こえるようになったと、照射方法の確認とカーボン購入のため電話してこれた。

こちらから、治療はこれまで通りBDカーボンで、患部である耳と後頭部に照射するよう指示。数か月後、聞こえ方は約九割戻ったように感じるとの電話

連絡を受けた。そして「完全に治りきるまで光線療法を続けます。本当にサナモアは素晴らしい、これからも頼りにしています。」と話された。私も光線療法の効果を身染みて分かっているのです、とても嬉しく思います。

治療例報告

原因不明の全身の痛みに対する

サナモア使用経験

川崎市 東京光線治療院

海渡 一二三氏報告

TEL 044-731-5067

症例 79歳 女性 主婦

症状 以前から、身体全体の筋肉痛のような痛みと冷えを自覚しており、病院や治療院を受診してきたが一向に改善しないため、友人に紹介され来所した。

これまでの病院では原因不明と説明され、精神科も紹介されたとのこと。初診時、受け答えから精神異常はないように推察され、移動性の痛みが全身に及ぶとの話であったため、早速当院と自宅での治療を開始した。

療法経過 治療には四台の光線治療器を使用し、A Bカーボンの組み合わせにて施行。初めは側臥位にて、顔面、腰部、膝に15分照射した後、腹部、後頭部、足裏に15分照射。その後、仰臥位に変更し、右肩、左股関節と

右膝側面に15分照射。次に、左

治療例報告

鉗子分娩時の会陰切開部を

サナモアで治療

石巻市 佳景山鍼灸整体クリニック

佐々木 康志氏報告

TEL 0235-741702

症例 36歳 女性 パート勤務

症状 初産で出産予定日を過ぎても陣痛がなく、陣痛促進剤の点滴を行い、出産に向かうが、

産道が開かず、鉗子分娩を余儀なくされる。その際、会陰切開を施行したが、創傷治癒の経過が悪く、切開部が腫れて化膿し、排尿時痛、排尿困難を認めたため当院来院。

肩、右股関節、左膝側面に15分照射して治療を終了した。

治療を開始してから半年が経過した頃、身体全体に認めた痛みは緩和され、笑顔が見られるようになった。原因不明の痛みであったが、根気よくサナモアを続けた結果、痛みが軽減したことに大変喜ばれている。

ペットサナモア

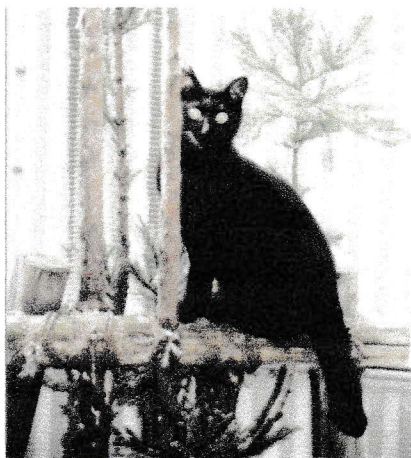
ネコのくろすけ君

『交通事故!? 片足負傷から15日目で歩けるまで完治!』

中北 穂代様

自宅の4匹の猫の中のくろすけ(雄)が昨年の暮れに、片足をつけられずヒョコヒョコ帰ってきました。入るなり、バツタリその場へ倒れ込んでかなり痛そうです。近頃、門の外は車が多く一瞬、骨折!手術!と頭を駆け巡りました。が、ひとまず

光線療法と思い、ちぢんだ足に上方からAカーボンBカーボンで照射しました。みるみる2倍位に足は膨れ上がりました。とてもスーパも飲めない状況です。1日に四回位に分けて1時間半位、毎日照射しました。私は高齢なので毎日サナモアを照射しています。私の照射のおこぼれの光を貰っていて、光線のことばよく知っているのが怖がりません。3日目には、スープ軟食を少しとれる様にな



(次ページにつづく)

(前ページからつづい)

り、患部の足を下側にして寝る様になりました。その為、患部の直接照射が出来なくなりましたが、光線療法の間接作用の効果を感じ、患部以外の照射も随分しました。

5日目、目もしっかりしてきて、まだ足はつけませんが食事をとれる様になり、患部に

ポツカリ大きな穴が開き、そこから赤い血が流れ出ました。血は数日でとまり、それからゲンゲン回復して10日目には足もつけて歩け、15日目にはかなりしっかり歩ける様になりました。今ではとても元気に庭を走り廻っています。傷あとも残らずです。

光線の恩恵が人間、動物達ま

サナモアカーボンの品質について

ご愛用者さまから、カーボンの燃え方が、少し変わったのではないかとカーボンの品質に関する貴重なご意見を頂きましたので、改めて回答させて頂きます。

ご存知のように弊社のサナモアカーボンは、イビデンケミカル(株)において、厳格な製品管理のもと製造されております。カー

ボンの原材料、芯材、製造工程につきましては、昭和35年に大河内記念賞を受賞した当時と全く変わっておりません。どうぞこれからも安心してご使用頂ければと願う次第でございます。

(株)東京光線メディカル
イビデンケミカル(株)

サナモア体験記募集

光線療法普及協会では、皆様からの体験記を募集しております。なお掲載させて頂いた方には、薄謝を贈呈致します。

サナモア体験記の投稿について、メールでの募集も開始いたしました。下記のアドレスまで、お気軽にご投稿をお願い申し上げます。

メールアドレス：sanamore@hr.catv.ne.jp

ペット治療
体験談 募集中



で効果のあることが有難く感謝の気持ちで一杯です。

SanaMore

光線療法普及協会

趣意書

光線療法普及協会は、日光が健康を増進する自然の恵みの源泉であり、病気の予防、治療に効果があるとの観点に立ち、光線療法の啓蒙、普及活動に努め、皆さまの健康維持に貢献します。

光線療法普及協会は、サナモアに対する認知と評価を高めるため、

一、季刊紙、「健康と光線」の発行

二、サナモア光線治療師の養成
の事業を行います。

光線療法普及協会

医学博士 宇都宮 正範

「健康と光線」の購読者を募集します。
また事業の詳細はお問い合わせ下さい。

〒153-0063 東京都目黒区目黒1-23-11

光線療法普及協会TEL(03) 五七五九-六三三三

(本紙の無断転用を禁止します。)